

2019年度 現地研修プログラム 講義概要 (シラバス)



法政大学

科目一覧

最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

短期語学研修 (英語) 【A8900】 春季短期語学研修 (英語) [熊田 泰章] スプリングセッション	1
短期語学研修 (フランス語) 【A8901】 春季短期語学研修 (フランス語) [熊田 泰章] スプリングセッション	2
短期語学研修 (中国語) 【A8902】 春季短期語学研修 (中国語) [熊田 泰章] スプリングセッション	3
短期語学研修 (朝鮮語) 【A8903】 春季短期語学研修 (朝鮮語) [熊田 泰章] スプリングセッション	4
短期語学研修 (英語) 【A8906】 夏季短期語学研修 (英語) [熊田 泰章] サマーセッション	5
短期語学研修 (ドイツ語) 【A8907】 夏季短期語学研修 (ドイツ語) [熊田 泰章] サマーセッション	6
短期語学研修 (フランス語) 【A8908】 夏季短期語学研修 (フランス語) [熊田 泰章] サマーセッション	7
短期語学研修 (中国語) 【A8909】 夏季短期語学研修 (中国語) [熊田 泰章] サマーセッション	8
短期語学研修 (朝鮮語) 【A8910】 夏季短期語学研修 (朝鮮語) [熊田 泰章] サマーセッション	9

OTR900LF

春季短期語学研修（英語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(English)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、英語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

春季短期語学研修（フランス語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(French)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend French intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、フランス語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

OTR900LF

春季短期語学研修（中国語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(Chinese)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、中国語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend Chinese intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

春季短期語学研修（朝鮮語）

熊田 泰章

開講時期：スプリングセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(Korean)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【Outline and objectives】

During the spring break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、朝鮮語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

OTR900LF

夏季短期語学研修（英語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(English)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、英語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（ドイツ語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(German)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、ドイツ語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend German intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（フランス語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位

科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(French)

曜日・時限：集中・その他

備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、フランス語圏の本学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend French intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（中国語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位
科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(Chinese)
曜日・時限：集中・その他
備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、中国語圏の大学協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend Chinese intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

OTR900LF

夏季短期語学研修（朝鮮語）

熊田 泰章

開講時期：サマーセッション | 単位数：単位
 科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(Korean)
 曜日・時限：集中・その他
 備考：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、朝鮮語圏の本国協定大学付属の語学教育機関が提供するプログラムに参加して、語学および文化学習を行う。学生はプログラム内の学習において、語学能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に語学力を応用し、文化を実体験することにより、国際的な知識および異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は初めて海外に行く学生など語学初級者も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、2回の事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、週20～25時間の語学と文化体験が含まれ、プレイズメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第1回	第1回事前オリエンテーション	事前準備（パスポート提出・参加費支払い・ビザ等取得手続き）、研修の心構えを学ぶ。
第2回	第2回事前オリエンテーション	海外危機管理情報、単位認定、研修先別情報について把握する。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20～25時間の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、卒業所要単位として単位認定がなされるかは事前に所属学部を確認すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

1. 大学は各研修先のプログラム出願代行、航空券手配・海外旅行傷害保険加入代行等、一般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. 参加のための必要な手続き（プログラムへの出願申請、ビザ申請等）を遺漏なく完了すること。
3. 危機管理のため参加者全員が同じ航空便での出発・帰国となり、研修開始前・終了後の滞在延長は認められない。
4. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

【Outline and objectives】

During the summer break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture. This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

